



開校23年目

新座小だより


 埼玉県新座市新座 3-4-1 TEL 048-478-2760
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza>

 令和8年度9月号
 児童数：296名

「本との出会い」～静かに育まれる確かな力～

校長 小俣 優子



長い夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。大きな事故や怪我なく家庭や地域で見守っていただいたこと、心より感謝申し上げます。

ホウセンカが大きく育ちました。

さて、1学期に6年生対象に行われた全国学力テスト（全国学力学習状況調査）と、4～6年生対象の県の学力テスト（埼玉県学力学習状況調査）の結果が先日学校に返却されました。9月上旬に担任から一人一人に配付しますので、お子さんの頑張っているところやこれからの課題などを親子で確認していただくようお願いいたします。特に5、6年生は、昨年からの伸びに注目してお話していただければと思います。

学力調査では、国語や算数のテスト以外に様々な質問に答える項目があります。私が今回の調査で特に気になったのは、子供たちが「読書」について回答した結果です。

《1か月に1冊も本を読まない児童生徒の割合》 ※県の小学生目標値 **7.8%以下**

	4年	5年	6年
新座小平均	18.4%	14.6%	16.3%

本校のみならず、社会的に見ても SNS やゲームなどに多くの時間を使うといった子供たちが増えており、以前のように本から情報を得る、物語の世界に浸るといった経験が非常に少なくなってきました。

読書は目に見える効果がすぐに表れるものではありません。しかし、本を開き、知らなかったことを知ったり、登場人物の気持ちを想像したり、自分とは違う考え方に触れたりする時間は、子供たちの中に少しずつ確かな力を育てていきます。想像力、思考力、表現力、集中力、人の気持ちを考える力、物事を前向きに捉える力……これまで知らなかった新しい言葉にも出会います。さらには、「こんな世界があるんだ。」「もっと知りたい。」「こんなことをしてみたい。」という関心や意欲を高めることにもつながります。

読書は現在の学びを豊かにするだけでなく、**子供たちの未来を支える土台を静かに育てていくものであると考えます。**

本を読むのが苦手という児童もいるかと思いますが、まずは「本って、おもしろい!」と思える1冊に出会うことが大切です。絵本、図鑑、物語、科学の本など好きなものから、「ちょっと読んでみよう」と本を手にとることが最初のステップになります。

学校では、ポップの作成や読み聞かせ体験などを通して本を手にとるきっかけづくりを進めていきます。学校、家庭、地域で連携して、子供たちが「**本と出会う場**」をつくっていきたいと考えますので、ご協力をお願いいたします。